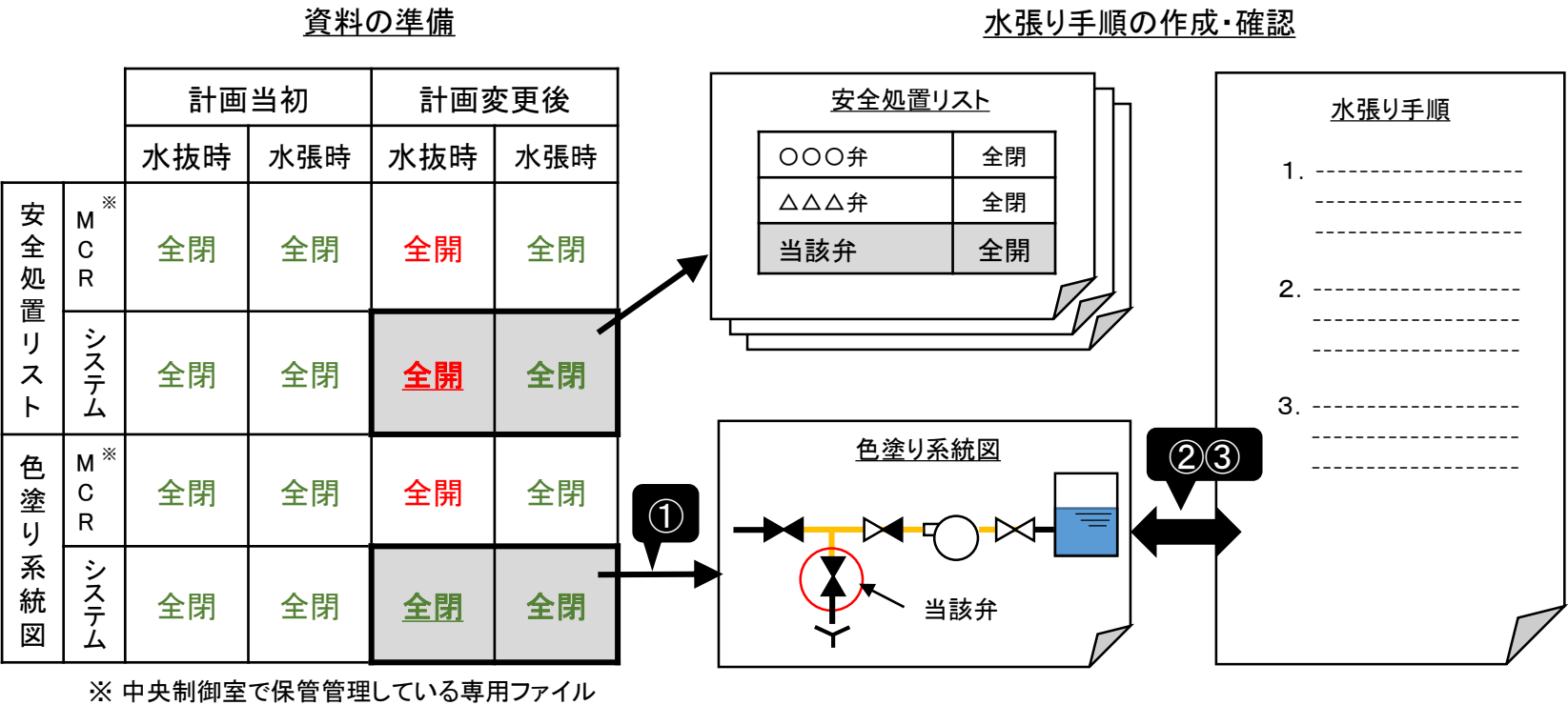


女川原子力発電所 1 号機原子炉建屋における溢水の原因

手順作成時

【原因 1】
■ 水抜き・水張り手順の作成・確認に係るルールに不明確な点があり、以下の①～③の問題が生じた結果、当該弁が「全閉」との認識に基づく手順が作成された。

No.	問題点
①	・計画変更を反映した色塗り系統図について、システムへ登録するルールが明確になっていなかったため、社員Aは、計画変更後の色塗り系統図をシステムに登録しなかった。
②	・社員Bは、水張り手順作成にあたり、システムから出力した色塗り系統図(計画変更前のもの)での確認を優先し、安全処置リストで当該弁が「全開」となっていることに気づかなかった。
③	・運転部門の管理職A、Bは、社員Bが作成した水張り手順と色塗り系統図(計画変更前のもの)の整合性を主に確認したため、当該弁の「全閉」操作が手順に入っていないことに気づかなかった。



【凡例】
✕ : 「全閉」の弁
◇ : 「全開」の弁
◐ : 「中間開」の弁

作業実施時

【原因 2】
■ 安全処置対象弁の確認方法に不明確な点があり、以下の④の問題が生じた結果、当該弁の状態確認が水張り実施前に行われなかった。

No.	問題点
④	・社員Bは、水張り前後の状態が「全閉」で変わらないと認識していた安全処置対象弁については、水張りに影響しないことから、水張り実施後に確認する手順を作成した。 ・このため、水張り実施前に当該弁が実際には「全開」状態であることに気づかなかった。

